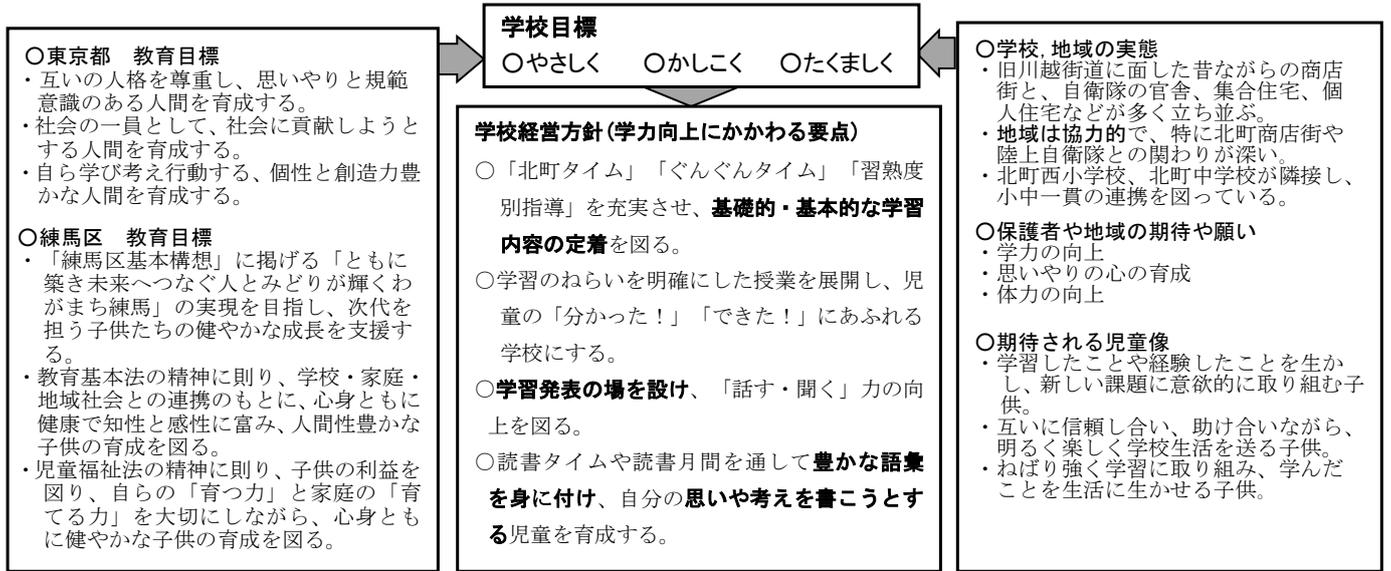
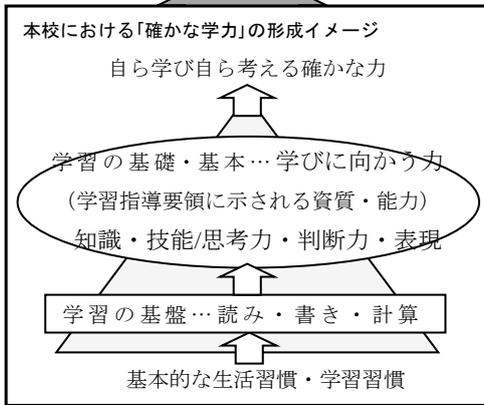


平成31年度 学力向上を図るための全体計画



各教科の指導の重点
・思考力・判断力・表現力等の育成に重点を置き、資質・能力を偏りなく育成する。
・問題解決的な学習や体験的な活動を重視し、自ら学ぶ意欲や態度を育成する。
・多様な人との協働を通して、学ぶ喜びや楽しみを実感させ、深い学びを実現する。
・個別指導や繰り返し指導・習熟度別指導等、児童一人一人に基礎的、基本的な内容を身に付ける。
・読み・書き・計算等を指導する時間を設定し、学力の基盤を養うとともに、自ら学ぶ意欲や態度の育成に努める。
・体育科の授業を校内研究の柱に置き、技能と体力の向上、及び主体的に学びを深めていく態度を育成する。



特別活動の指導の重点
・学級活動を通して、受容的な集団を形成し、自主的・実践的な態度を育成する。
・縦割り班活動を通して、校内における存在感や役割意識を高め、協力してよりよい生活を築こうとする態度を育成する。
・年間18時間のクラブ活動を通して個性を伸ばし、望ましい人間関係の形成を図る。

総合的な学習の時間の指導の重点
・地域、人、自然と関わりながら体験学習を展開し、豊かな心を育成する。
・総合的な学習の時間の評価を他教科の指導改善に生かす。
・節電、節水、資源回収の活動に積極的に参加し、持続可能な社会への参画意識を高める。

道徳教育の指導の重点
・自己理解を深め、道徳的な心情や、判断力、実践力を育成する。
・児童相互や地域との協働、ボランティア活動や自然体験を通して、社会に貢献する態度を育成する。
・道徳授業地区公開講座を実施し、保護者と話し合う機会を設け、地域や保護者との連携を深め、規範意識を育成する。

生活指導の重点
・人権教育、性教育を通して、一人一人の心情を大切に、心身共に健全な児童を育成する。
・「あいさつ・あつまり・あとしまつ」の指導を中心に、基本的な生活習慣を身に付ける。
・生活指導報告会や生活指導研修会を実施し、いじめ・不登校・問題行動等の早期発見に努め、関連機関と協力した組織的な指導体制により、児童の心と体の健康づくりを推進する。
・教育相談活動を充実させ、不登校や情緒不安を抱える児童に対応する。
・スクールカウンセラー、心のふれあい相談員・民生児童委員や公的機関との連携を図り、家庭で十分に保護、養育されていない児童や虐待の疑いのある児童を支援する。
・不審者、誘拐、性的暴行等に対する研修会やマニュアルを作成し、職員の危機管理意識を高める。
・校外生活についての安全指導を、保護者、地域と協働して推進する。

外国語活動の指導の重点
・地域留学生、外国人保護者、海外滞在経験者等と交流して、国際理解を深める。

キャリア教育の重点
・全教育活動を通して自分の得意とすることやしたいことを見つけ、伸ばそうとする態度を育成する。
・幼稚園、保育園や中学校との交流を通して社会の中でよりよく生きていこうとする態度を育成する。

本校の授業改善に向けた視点				
基礎・基本の定着	学習の基盤作り	校内研究	家庭や地域との協働	小中一貫教育
<ul style="list-style-type: none"> 話し合いや学習発表の場面設定 問題解決の学習展開 体験活動の導入 個別指導、および繰り返し指導 算数科における習熟度別指導 道徳科における他者理解のための支援 振り返りなどの自己評価の時間(評価) 学習状況の把握と適切な支援計画 	<ul style="list-style-type: none"> 「北町タイム」「ぐんぐんタイム」の実施 読書タイムの導入 学級の時間の活用 	<ul style="list-style-type: none"> [体育科] 運動の楽しさや喜びを味わい主体的・協働的に取り組む、児童の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材の活用 土曜授業公開における内容の工夫 道徳授業地区公開講座 セーフティ教室 第6学年インターシッ 学校評議員制度の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 課題改善カリキュラムを作成し、小中一貫の授業改善を図る。 校区别協議会や授業参観を行いPDCAサイクルを実現する。 生徒会、児童会の連携による挨拶運動の実施 中学校教諭による出前授業 サマースクールにおけるリトルティーチャー制度 中学校部活体験

